

令和 8 年度 奈良のシカ管理計画検討業務委託（奈良の鹿保護育成事業）
にかかる審査基準

審査項目		審査基準	5段階	係数	配点
業務遂行能力	業務理解度	本業務の目的・趣旨を理解した上で、具体的かつ適切な実施方針が示されているか。	5	1	5
	業務実績	同種業務を複数受託し、十分なノウハウ・実績があるか。	5	2	10
	実施手順	業務実施のための具体的かつ実現性のあるスケジュールが示されているか。	5	1	5
	実施体制	環境省「鳥獣保護管理に係る人材登録事業」の鳥獣保護管理プランナー登録者又は技術士（環境部門：自然環境保全）の資格を有する技術者が配置されているか。	5	2	10
企画提案内容	防鹿柵設置計画及び効果検証	農業被害の発生状況や地域の実情を踏まえ、効果的な防鹿柵の設置箇所及び設置方法を検討するための具体的な考え方が示されているか。	5	2	10
		防鹿柵の設置効果を把握するとともに、設置後の維持管理状況や地域住民の評価・課題認識等を踏まえた効果検証方法について、具体的な考え方が示されているか。	5	1	5
	「奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画（第2次）令和8年度実施計画」の評価	「奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画（第2次）」に基づき実施する各種調査結果等について、整理・分析した上で評価する視点及び評価への活用方法、報告書作成について具体的な考え方が示されているか。	5	1	5
	「奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画（第3次）」案の作成	「奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画（第2次）」、奈良のシカ保護管理計画検討委員会等における検討内容、モニタリング結果、捕獲等に係る各種データ等を踏まえ、これまでの取組や課題の整理・分析を計画改定にどのように活用するかについて、今後の計画作成に向けた具体的な考え方や方向性が示されているか。	5	2	10
		天然記念物「奈良のシカ」の個体群を健全に維持しつつ農林業被害の軽減を図るため、今後想定される課題に対応した施策の方向性及び主要な対策について、中長期的な視点を持った具体的な提案となっているか。	5	3	15
		農林業被害対策の実施状況、地域の実情及び捕獲等の実施状況を踏まえ、実効性及び継続性に配慮した計画策定の考え方が具体的に示されているか。	5	2	10
	検討委員会の支援	検討委員会の開催に向けた資料作成、関係者との調整及び議事録作成等について、円滑な運営を行うための具体的な支援方法が示されているか。	5	1	5
経費	経費見積	経費の内訳、範囲が明確で、提案内容に見合った合理的な金額となっているか。	5	2	10
合計					100

○提案者が2 者以上ある場合は、各審査員による合計点が、満点の6 割以上の者のうち最も高い点を獲得した者を契約候補者として選定する。

○提案者が1 者の場合は、各審査員による合計点が、満点の6 割以上で、かつ審査員の合議により認められた者を契約候補者として選定します。

○経費見積の採点基準は以下のとおりとする。

- ・ 9,141,440円～9,328,000円・・・1点（98%<見積額≦100%）
- ・ 8,954,880円～9,141,440円・・・2点（96%<見積額≦98%）
- ・ 8,768,320円～8,954,880円・・・3点（94%<見積額≦96%）
- ・ 8,581,760円～8,768,320円・・・4点（92%<見積額≦94%）
- ・ ～8,581,760円・・・5点（見積額≦92%）

○同種業務の実績件数に応じて採点し、0 件の場合は1 点、1 件につき1 点を加算し、4 件以上の場合は上限の5 点とする。
（同種業務：個体数調整、被害対策等のシカの管理に関する調査業務または検討業務）

○実施体制の採点基準は以下のとおりとする。

- ・ 環境省「鳥獣保護管理に係る人材登録事業」の鳥獣保護管理プランナー登録者及び技術士（環境部門：自然環境保全）の両資格を有する技術者を配置・・・5点
- ・ 上記資格のいずれか一方を有する技術者を配置・・・3点
- ・ 上記資格を有する技術者を配置しない・・・1点